

運転者への指導・監督のために必要な ドライブレコーダーの性能について

【ドライブレコーダーに求められる性能】

- ✓ バスの運行状況(前方映像、速度等)及びその際の運転者の挙動・機器の操作等を事後に把握するために必要な映像・データを記録できる性能を有することが必要。
- ✓ 必要な映像を容易に確認でき、かつ、記録が適切に保持される性能を有することが必要。

運行状況の把握に必要な性能

前方映像カメラ

Gセンサー

速度センサー

運転者の挙動等の把握に必要な性能

運転操作装置用カメラ

音声センサー

必要な映像を容易に確認するために必要な性能

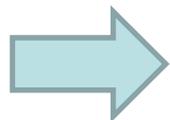
時刻

記録の保持に必要な性能

記録装置

耐久性

改ざん・不正操作対策



これらの詳細な性能要件をワーキンググループにおいて検討を実施。

現在活用されているドライブレコーダーの性能

- ✓ 現在、Gセンサーや運転操作装置用カメラのないドライブレコーダーを活用している事業者もあり、これらの扱いについて検討が必要。

Gセンサー(及びイベント記録)の扱い

【Gセンサーの役割】

- 急ブレーキ・急ハンドルの把握。
- イベント記録の保存。

【代替手段の有無】

- 急ブレーキ・急ハンドルについては、映像及び速度の変化からある程度把握可能。
- 常時記録から必要な場所・時間帯の映像を抽出する等によりイベント記録を代替。



Gセンサーについては、**当面の間は必須としない**が、将来的な義務づけを視野に、Gセンサーを装着する場合の要件を定める。

運転操作装置用カメラの扱い

【運転操作装置用カメラの役割】

- 事故・ヒヤリハット等の際に運転者が適切な運転を行っていたかを把握。

【代替手段の有無】

- 「よそ見」の有無等、運転者の挙動を確認するには、運転操作装置カメラが必要。



運転操作装置用カメラについては、**必須とする**。

(参考)

運転者のプライバシーへの配慮については、事業者において、事故等特定の場合に限って映像を確認する等の方法が考えられる。